

大阪・関西万博 + 上半期ヒット商品大賞

個人生活を刺激する流行情報誌

日経トレンド

行って
わかった!

万博の壁
完全解決

チケット

ミyakubo!

荷物

蚊柱

地図アプリ

6

JUNE
2025

特別定価
780円



見所

行列
回避

アクセス

得する&楽しむ方法集めました!

大阪・関西 万博



「予約なし」で楽しむ⑧コースも考案
会場&大阪解説MAP

サウジアラビア館のコーヒーマシンがスゴイ
パビリオン最強ランキング

無料展望デッキ、穴場休憩スポット…
梅田ダンジョン最新案内

新名所から
デカ盛りグルメ
まで

非公式ガイド

大阪の街まるごと全調査!

なぜ1万円超のチケットが完売?

ラジオ
高額イベントの謎

上半期ヒット商品大賞&下半期ブレイク予測

美しい木目を、 社会の未来へ。

強い紫外線や容赦ない風雨からしっかりとガードし、
美しい木目や豊かな風合いを保護。
2つの塗膜層で木材の美観を末長く保つ
『ハイブリッドウッドプロテックス』の実力とは。

OSHIROXハイブリッドウッドプロテックス

内部に
深く浸透

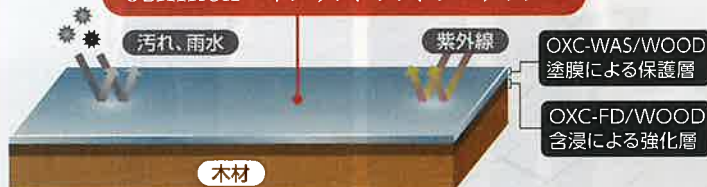
緻密化
強度の向上

紫外線による
劣化を抑制

汚れの
付着を抑制

メンテナンス
の軽減

OSHIROXハイブリッドウッドプロテックス



木材の主な劣化要因は、外部からの光と内外部からの水の出入り、そして腐食や虫害だ。表層内部を緻密化させて強度を向上させるとともに、内部から表面への水の移動を制限する「OXC-FD/WOOD」と、表面に塗膜を形成することで外部からの紫外線や水の侵入を防ぐ「OXC-WAS/WOOD」の層が木材を強力に保護。防虫効果も備えており、生物要因の劣化にも対応している。

木材保護の
しくみ

美しい木材の課題は耐候性

国土の約3分の2が緑で覆われた日本は、世界有数の森林国。また、戸建住宅の9割前後を木造建築が占めることもあって「木の文化」は身近な存在だが、実は木材の自給率はかなり回復した現在でも4割ほどに過ぎない。価格高騰や納期遅延で、輸入材に頼る住宅業界の現状が改めて表面化したコロナ禍の「ウッドショック」は記憶に新しいが、環境保護の観点はもちろん個人のリスク管理の面からも「木の大切さ」を再確認しておきたいものだ。

木造に限らず、温かみと洗練性を表現できる木質系サイディングやウッドデッキは、いつの時代も人気の。だが、課題はやはり耐久性で、施工・塗装の品質や気候条件によつては想定より早く大掛かりなメンテナンスが必要になることも。そこで注目したいのが、耐候性を備えながら美観を作る保護塗料だ。

二重の膜で経年劣化を抑制

OSHIROX株式会社（大阪市）が開発した「ハイブリッドウッドプロテックス」は、コンクリートの特殊塗装などで地位を確立してきた同社の独自技術から生まれた木材用のコート剤だ。有機・無機の二刀流による特殊な樹脂と添加剤が配合されており、促進耐候性試験では10〜15年に相当する高い耐候性を発揮。外部からの悪影響を抑えると同時に、木材の美しい風合いを強調できるスグレモノだ。

注目は、文字通りハイブリッドな構造を持つ塗膜と含浸の二重層だ。木材の表面に塗膜を形成する保護層は、植物の細胞壁の主成分であるリグニンを分解して変色や強度低下の原因となる紫外線を吸収・遮蔽し、同時に腐朽や剥離を引き起こす雨水の浸入も抑制。

その内側、成分が木材本体に浸透して作られる強化層は、強度向上に加えて内部からの水分移動も制限。この2つの層が、経年による外観不良や強度低下からダブルで木材を守るのだ。また、表面の塗膜は透明感あるカラークリヤーで、下地の木目を美しく表現。全16色とカラバリも豊富で、木材の豊かな表情とともに色彩にもこだわりを発揮できる。コンクリートウォールでは表面の凹凸まで活かせるハイブリッドカラーコーティングを実現してきた企業だけに、仕上がりは納得の美しさだ。大規模複合施設や自治体庁舎、ホテルや大学など、コンクリート分野で多数の採用実績を積み上げてきたOSHIROXの木材用コート剤。住まいのプロはもちろん、これから新築・リフォームをお考えの方も、ぜひブックマークを。

お問い合わせ

株式会社OSHIROX

〒559-0011

大阪市住之江区北加賀屋4-1-55



公式サイト



Instagram